















会 告

農業土木学会論文集投稿料の改定について	65
海外での農業農村整備 そのあゆみとさらなる50年に向けて 農業土木学会 第26回国際問題シンポジウム開催(第1報) 	65
農村地域の資源保全と農業農村整備のあり方について 第37回中央研修会(第1報) 	65
平成16年度農業土木学会地方講習会テキストについて(再)	66
「平成16年度会員名簿」予約申込みのご案内(再)	66
投稿原稿の閲読状況が確認できます!	66
国際学会「国際水田・水環境工学会」入会のお願いと 国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」の配布について	66
国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿の勧め	67
農業土木学会誌への投稿お待ちしております! 小特集以外の投稿も歓迎します。	68
第53回北海道支部研究発表会の開催について(第3報) 	69
第32回北海道支部研修会の開催について(第1報) 	69
農村生態工学研究部会「第1回地方研究会」の開催について 	70
平成16年度農業水利研究部会研究集会開催のお知らせ(第1報) 	70
平成16年度農村道路研究集会および現地見学会 	70
第42回材料施工研究部会シンポジウムの開催について(第2報) 	71
水土里の体験展 04~再発見! 実りいっぱい 夢イッパイ ふるさとからのメッセージ~	72
「国際水田・水環境ネットワーク(INWEPF)」設立記念シンポジウムの開催について 	73
農業土木学会論文集第233号内容紹介	75
学会記事	78

農業土木学会(本部)行事の平成16年度計画

農業土木学会(本部)16年度行事について、下表のように計画しています。奮ってご参加下さるようお願いいたします。

 のマークが付されているものは農業土木技術者継続教育認定プログラム、または認定申請中  を表しています。

開催日	主催	行事名	テーマ	開催場所	掲載号
平成16年10月 21日~22日	高度技術セミナー 実行委員会	第21回水士技術セミナー 	水利構造物の性能設計	農業土木 会館	72巻 8,9号
平成16年11月	国際委員会	第26回国際問題シンポジウム 	海外での農業農村整備 そのあゆみとさらなる50年に向けて	農業土木 会館	72巻 10号
平成17年1月 12日	行事企画委員会	第37回中央研修会 	農村地域の資源保全と農業農村 整備のあり方について 新 たな食料・農業・農村基本計画 における農業環境・資源の保全 対策の確立と農業農村整備	東京大学	72巻 10号

次号72巻第11号予定

展望:「環境保全を重視する農業政策の展開とこれからの農業土木」:三野 徹

小特集:都市と農村との交流(農村観光)

都市と農村の交流研究の現状と交流機能の評価:小泉 健他

福祉と農村価値向上を目指すフランスの農村ツーリズム:大島 順子

潜在的利用世帯の意向に配慮した市民農園の整備支援:合崎 英男他

都市住民のグリーン・ツーリズムに対する意識調査:加藤 幸他

名水箱島湧水を活用した住民による農村の観光里づくり:中村 好男他

道の駅における農産物直売が地域の農家に与える影響:服部 俊宏他

伝統的棚田地域における都市農村交流の可能性:細田 洋志他

講座:生物・社会調査のための統計解析入門:調査・研究の現場から(その4)3群以上を比較する(1元配置と2元配置の分散分析,多重比較):小出水 規行

小講座:景観法:大熊 規義

私のビジョン:都市と農村とが共有する新時代の社会形成に向けて:工藤 庸介

農業土木学会関連行事予定

平成 10 年 10 月 27 日	北海道支部	第 53 回研究発表会			帯広市	72 巻 7, 9, 10 号
平成 16 年 11 月 4, 5 日	東北支部	平成 16 年度総会・研究発表会・ 支部研修会・地方講習会			仙台国際 センター	72 巻 7 8 号
平成 16 年 11 月 5 日	農村生態工学研究部会	第 1 回地方研究会		コウノトリの野生復帰に向け た取組み(仮)	豊岡市	72 巻 10 号
平成 16 年 11 月 9, 10 日	農地保全研究部会	第 25 回研究集会		低平地における農地保全と地 域資源の活用	佐賀市	72 巻 7 8 9 号
平成 16 年 11 月 18, 19 日	京都支部	第 61 回研究発表会			大津市	72 巻 6 7 号
平成 16 年 11 月 18, 19 日	九州支部	第 27 回地方講習会・第 35 回支部研修会			沖縄	72 巻 8 号
平成 16 年 11 月 24 日	農業水利研究部会	平成 16 年度研究集会		関東地方の湯水調整と土地改 良区の対応(仮)	東京都	72 巻 10 号
平成 16 年 11 月 24~26 日	資源循環研究部会	平成 16 年度(第 2 回)研究発表会		農村における水やバイオマス 等有機資源の利活用および循 環に係る調査・研究	幕張メッセ	72 巻 6 号
平成 16 年 11 月 25 日	北海道支部	第 30 回シンポジウム		寒冷地の農業基盤整備にかか わる課題克服の軌跡と展望	札幌市	72 巻 10 号
平成 16 年 11 月 25, 26 日	農村道路研究部会	平成 16 年度研究集会・現地見学会			アクトシティ 浜松	72 巻 9 号
平成 16 年 12 月 17 日	材料施工研究部会	第 42 回シンポジウム		水利施設のストックマネージ メント(仮)	つくば市	72 巻 9 号
平成 16 年 12 月 16, 17 日	応用水理研究部会	平成 16 年度応用水理研究部会研究集会		応用水理学分野の研究発表	九州大学	72 巻 9 号
平成 17 年 1 月	土壌物理研究部会	第 43 回研究集会				
平成 17 年 1 月	農村生態工学研究部会	地方研究会			栃木県	
平成 17 年 1 月	関東支部	地方講習会および支部研修会			神奈川県	
平成 17 年 1 月 26 日	北海道支部	支部講演会			札幌市	
平成 17 年 3 月	水土文化研究部会	第 2 回水土文化研究部会		水土文化の持つ機能と共有認 識に向けて	農業工学 研究所	

学会誌 72・73 巻の小特集・特別企画のテーマ

小 特 集 テ - マ	要 旨 締 切 (A 4 判 1,500 字以内)	原 稿 締 切 (刷 り 上 り 4 ページ厳守)
12 号 国立大学法人化の波紋	公募終了	
73 巻 1 号 水土文化遺産	"	
2 号 リフレッシュした愛知用水	公募なし	
3 号 貧困削減・平和構築と海外農業農村開発	公募終了	平成 16 年 10 月 12 日
4 号 圃場～流域レベルの水環境管理	"	平成 16 年 11 月 10 日
5 号 技術者資格の国際化対応の現状と課題	平成 16 年 10 月 25 日	平成 16 年 12 月 10 日
6 号 大会関連 京都支部(仮)	公募なし	平成 17 年 1 月 14 日
7 号 現場における農業土木技術(仮)	平成 16 年 12 月 24 日	平成 17 年 2 月 15 日
8 号 支部活動および中央研修会	公募なし	平成 17 年 3 月 15 日
9 号 農村における生物多様性, 外来種・移入種の現状と課題(仮)	平成 17 年 2 月 25 日	平成 17 年 4 月 15 日
10 号 農業水利施設のストックマネジメント(仮)	平成 17 年 3 月 25 日	平成 17 年 5 月 13 日
11 号 おらが町の地域再生・町づくり(仮)	平成 17 年 4 月 25 日	平成 17 年 6 月 15 日
12 号 ブロック編集号	平成 17 年 5 月 25 日	平成 17 年 7 月 15 日

上記のテーマに沿った報文の投稿をお待ちしております。

なお、小特集のテーマは仮題となっておりますので、予告なく変更することがございます。会告 77 ページに掲載されている特集の趣旨をお読みいただいた後、公募要旨を学会誌編集委員会あてにお送りください。

自主投稿原稿の募集

小特集以外の自主投稿も歓迎いたします。投稿の際には、1 号に収載の「農業土木学会誌投稿要項」および「農業土木学会誌原稿執筆の手引き」を熟読の上、ご投稿ください。

農業土木学会論文集投稿料の改定について

農業土木学会論文集編集委員会

農業土木学会論文集編集委員会は、投稿者から「投稿料が高い」などの意見があり、また、閲読料を平成16年度から値下げすることに伴い、投稿料について、平成16年度第1回委員会(16.4.16開催)および第2回委員会(16.7.20開催)において検討を行い値下げすることを決定し、定期刊行物委員会の審議を経て、第189

回理事会の承認へ得ましたので、平成17年4月1日受付の原稿から実施することにいたします。

	改定後	現 行
投稿料	16,000 円	20,380 円

海外での農業農村整備 —そのあゆみとさらなる50年に向けて— 農業土木学会 第26回国際問題シンポジウム開催(第1報)

国際委員会

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



第26回国際問題シンポジウムを以下のように開催致します。本シンポジウムは、国際協力50周年記念事業(10月6日の「国際協力の日」を中心とする前後3カ月間(対象期間9月1日~11月30日)に開催されるシンポジウム、国際イベント等としている)を踏まえて、11月下旬~12月上旬の間に予定としています。詳細は追って掲載いたします。

1. 期 日：平成16年11月下旬~12月上旬
2. 場 所：農業土木会館6階大会議室
3. 課 題：海外での農業農村整備

そのあゆみとさらなる50年に向けて

4. プログラム(予定)

基調講演：1. 「農業農村整備の50年間で現場での協力経験でふりかえる」

2. 「農業農村整備の新たな協力の可能性を語る」

パネルディスカッション：

技術協力、政策支援、プロジェクトの実績と成果

現在の協力課題

今後の展開方向

農村地域の資源保全と農業農村整備のあり方について 第37回中央研修会(第1報)

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



新たな基本計画において、農村地域の資源保全の重要性が新たに盛り込まれようとしています。

これまで農業土木として、最も重要な農村地域の資源の一つである「水」「土」の整備や農村の環境整備などに携わってきた。これまでの取組みを踏まえた地域の資源保全への係わり方について各講師よりさまざまな角度から提言をいただきます。地域保全活動の取組みや農業農村整備事業としてこれからの係わり方について提言していただき、今後の農村地域における保全に向けた取組みの素材にして戴くことを目的としています。

また、これからの都市と農村の共生や対流などに農村の地域資源をどのように活かしていくのかの検討の参考にして戴きたいと考えています。

平成16年度の中央研修会は、下記により開催されます。多数のご参加をお待ちしております。

1. 主 催 農業土木学会行事企画委員会

2. 期 日 平成17年1月12日(水)10:00~

3. 場 所 東京大学 弥生講堂(文京区弥生1-1-1)

4. テーマ

「農村地域の資源保全と農業農村整備のあり方について」

新たな食料・農業・農村基本計画における農業環境・資源の保全対策の確立と農業農村整備

5. プログラム(予定)

- 1) 食料農業農村基本計画における地域資源保全について
- 2) 地域資源保全への取組みの現状について
- 3) 地域資源保全と農業農村整備
- 4) 地域資源保全活動に期待されるもの

6. 定 員 200名程度

7. 参 加 費 一般 10,000 円

会員割引 6,000 円

学生会員割引 3,000 円

8. 申込締切 平成 16 年 12 月 24 日

☎03 3436 3418 FAX 03 3435 494

9. 問合せ先 行事企画委員会担当 吉本・伊藤

平成 16 年度農業土木学会地方講習会テキストについて (再)

地方講習会は毎年各支部で、開催いたしておりますが、平成 16 年度のテキストは、新たに制定された「土地改良施設 耐震設計の手引き」の解説、「農地地すべり防止対策」の改定の解説、「環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の手引き」を取上げます。テキストは学会本部で統一したものを作製し、使用していただくこととしていますが、地方講習会に出席できない方々のための販売もしております。

テキストの全体構成、販価等は下記のとおりです。ご希望の方は代金を添えて、下記あてお申込みください。

記

〔テキスト内容〕

1) 土地改良事業計画基準・計画「農地地すべり防止対策」の改定

の解説 農村振興局計画部資源課計画基準班
2) 土地改良施設 耐震設計の手引き」の解説

農村振興局整備部設計課設計基準班
「耐震設計の工種別・標準設計」の事例について

日本技研(株) 技術開発部
3) 環境との調和に配慮した事業実施のための調査計画・設計の手引き(第3編)「ほ場整備 水田・畑」の解説

農村振興局計画部事業計画課農地整備班
1. 販 価 定価 2,800 円, 会員特価 2,300 円(税込, 送料共)

2. 申込先 (社) 農業土木学会

〒105 0004 東京都港区新橋 5 34 4

☎03 3436 3418 FAX 03 3435 8494

「平成 16 年度会員名簿」予約申込みのご案内 (再)

本年 11 月中旬発行予定の平成 16 年度農業土木学会会員名簿の予約申込みを、会員に限り下記のとおり受け付けます。

名誉会員・賛助会員には、従来同様無料配布いたします。

予約特価 3,000 円(消費税込, 送料学会負担)(会員に限る)

予約期間後は、会員価格 3,500 円

予約申込期限 平成 16 年 11 月 5 日(金)

申込・送金方法 郵便振替用紙(所要事項記入のうえ郵便局へ振込み), または現金書留(予約申込書同封)でご送金ください。

申込み・送金先 (社) 農業土木学会

☎03 3436 3418 FAX 03 3435 8494

郵便振替口座 00160 8 47993

投稿原稿の閲読状況が確認できます!

農業土木学会論文集編集委員会

農業土木学会論文集に投稿中の原稿の閲読状況がホームページで確認できるようになりました。

以下の手順で検索して下さい。

学会ホームページ(<http://www.jsidre.or.jp>)を開く。

「論文集」を選択。

「日本語」または「英語」を選択。

日本語の場合は「閲読状況一覧」、英語の場合は「List of pa-

pers under reviewing」を選択。

投稿した年度を選択(受領ハガキに表示されている受付番号の上 2 桁が年度を表しています。例:「04101」の場合は、「2004 年度」を選択)

PDF ファイルの「閲読状況一覧表」(受付番号, 閲読回数, 閲読依頼日, 閲読返送日)が表示されますので, 自分の受付番号から閲読状況を確認してください。

国際学会「国際水田・水環境工学会」入会のお願いと 国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」の配布について

農業土木学会では、2003 年 1 月に日本、韓国、台湾を中心としたアジアモンスーン地域の農業土木関連学・協会および各国際機関等と連携して、新たな国際学会(国際水田・水環境工学会; Inter-

national Society of Paddy and Water Environment Engineering) を設立、機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を創刊、2004 年 6 月には Vol 2 No 2 が発刊されました。

本ジャーナルは、モンスーンアジア諸国の水田農業工学に関する研究論文、技術論文が多数掲載されますので、研究者のみならず、各種事業に携わる技術者にとっても貴重な学術情報誌です。

たくさんの方が国際学会へ入会されることを望みます。

掲載論文の分野は、次のように幅広い内容となっています。

- ① 灌漑（水配分管理，水収支，灌漑施設，栽培管理）
- ② 排水（排水管理，排水施設）
- ③ 土壌保全（土壌改良，土壌物理）
- ④ 水資源保全（水源開発，水文）
- ⑤ 水田の多面的機能（洪水調節，地下水涵養など）
- ⑥ 生態系の保全（水生，陸生動植物の生態系）
- ⑦ 地域計画（農村計画，土地利用計画など）
- ⑧ バイオ環境システム（水田農業と水環境，土壌環境，気象環境）
- ⑨ 水田の多目的利用（田畑転換，施設園芸）
- ⑩ 農業政策（農村振興，条件不利地の支援策など）

水田農業を通じた国際的な研究交流，情報交換の場として，皆様の国際学会への入会をお勧めします。

国際学会に入会されますと，会員には国際ジャーナルが，無料で配布されます。

出版社：Springer-Verlag 社（ドイツ）

発刊スケジュール：2003年3月創刊，以後3カ月ごと

国際学会会費：正会員 12,000 円/年/4 冊（送料等学会負担）

学生会員（院生含む）8,500 円/年/4 冊（送料等学会負担）

申込先：農業土木学会編集出版部 吉武宛

ホームページ：http://www.jsidre.or.jp

入会のお申込みは，学会 HP <http://www.jsidre.or.jp/publ/ij/scope.htm> の「5. APPLICATION FORM FOR THE REGULAR MEMBER」にご記入のうえ，メールまたは FAX でお申込みいただけます。

第2回 PAWEES 国際賞：2004年10月21日には，韓国において，第2回 PAWEES 国際賞の授賞式が行われます。

本国際賞には，功労賞，優秀読者賞，優秀論文賞があります。優秀論文賞には，特に若手を奨励する目的で，沢田賞が設けられており，1名が表彰されることとなっています。

詳細については，ニュース（p.56）を参照してください。

農業土木学会は，300人の国際学会員を募る義務を負っておりますが，現在会員数は265名（9月現在）と微増はしておりますが，いまだ目標会員数には達しておりません。そのため，編集業務を含め年間数百万円の赤字体質となっております。この窮状をお察しいただき，多くの新規入会のお申込をお願いします。

国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」への投稿の勧め

農業土木学会では，2003年1月に日本，韓国，台湾を中心としたアジアモンスーン地域の農業土木関連学・協会および各国際機関等と連携して，新たな国際学会（国際水田・水環境工学会；International Society of Paddy and Water Environment Engineering）を設立し，機関誌として国際ジャーナル「Paddy and Water Environment」を創刊。2004年6月には Vol.2 No.2 が発刊されました。

我が国においても学術誌の評価に，SCI（Science Citation Index）の IF（Impact Factor）が利用されており，本国際ジャーナルでも IF の取得により高い評価の定着を目指しています。

また，世界13カ国から Editor（13名）を選出することにより，国際ジャーナルとしての質を高める編集体制とし，さらに国際的な流通を考慮して，国際出版社として著名な Springer Verlag 社からの刊行です。

掲載論文は，Review，Article，Technical Report および Short Communication の4種類です。

投稿から掲載までの時間を短縮するとともに，SCI 獲得のために年4回の発行としております。投稿者は国際学会員に限りますが，投稿料，掲載料などを無料として投稿者の負担を軽くするように配慮されています。

皆様方の多数の投稿を期待しております。

編集方針：水田農業における土地と水と環境に関する科学と技術

の発展への貢献を目的としている。

その分野は，水田農業地帯における灌漑と排水，土壌保全，土地資源や水資源の保全と管理，水田の多面的機能，農業政策，地域計画，バイオ環境システム，生態系の保全，水田保全，田畑輪換等 である。

編集体制：

- Editor in Chief：Dr. Yohei Sato (Japan)
- Editors および Editing Board には世界各国から斯界の権威が就任しています。
- Managing Editors：Dr. Yoshisuke NAKANO (Japan)，Dr. Nobumasa HATCHO (Japan)，Dr. Yoshito YUYAMA (Japan)，Dr. Ke Sheng CHENG (Taiwan)，Dr. Chun Gyeong YOON (Korea)

出版社：Springer Verlag 社（ドイツ）

投稿資格：筆者全員が国際学会員であること。

投稿先：農業土木学会気付・中野芳輔宛で受付。

投稿要領等：<http://www.jsidre.or.jp> に詳細を記載しています。

PWE 原稿投稿状況報告：2003年1月の PAWEES 設立から2004年8月20日までに，Editorial を除いて92本の投稿がありました。

その国別内訳は，下記ようになっており，多くの国で認知されつつあることを，ご報告いたします。

国別投稿内訳：日本 61，韓国 17，台湾 2，イタリア 2，インドネシア 2，スリランカ 1，ナイジェリア 1，中国 2
 シア 2，フィリピン 1，パキスタン 1，メキシコ 1，マレーシア 1，

農業土木学会誌への投稿お待ちしております！小特集以外の投稿も歓迎します。

農業土木学会誌編集委員会

73巻の小特集テーマのお知らせと報文原稿の募集

小特集のテーマに沿った原稿を、次表に従って広く会員から募集いたします。小特集以外の自主投稿も歓迎します。

また、今後取上げてほしい小特集のテーマについても、広く募集いたします。なお、小特集のテーマは仮題となっておりますので、予告なく変更することがございます。特集の趣旨をお読みいただいた後、公募原稿要旨を学会誌編集委員会あてにお送りください。

採用された原稿の分量は、**刷上り4ページ**となっておりますので、ご執筆の際には**厳守**いただきますよう、お願いいたします。

学会誌第73巻5号～12号までの小特集のテーマ（予定）

小 特 集 の テ ー マ	要旨締切（必着） （A4判用紙，1,500字以内）	原稿締切 （刷上り4ページ厳守）
5号 技術者資格の国際化対応の現状と課題	平成16年10月25日	平成16年12月10日
6号 大会関連 京都支部（仮）	公募なし	平成17年1月14日
7号 現場における農業土木技術（仮）	平成16年12月24日	“ 2月15日
8号 支部活動および中央研修会	公募なし	“ 3月15日
9号 農村における生物多様性、外来種・移入種の現状と課題（仮）	平成17年2月25日	“ 4月15日
10号 農業水利施設のストックマネジメント（仮）	“ 3月25日	“ 5月13日
11号 おらが町の地域再生・町づくり（仮）	“ 4月25日	“ 6月15日
12号 ブロック編集号	“ 5月25日	“ 7月15日

73巻5号テーマ：農業土木技術者資格の国際化対応の現状と課題

わが国の産業社会は大きな転換期にあり、科学技術創造立国を目指して技術革新と国際競争力強化を図ることが、国の最重要課題とされています。これを背景として、わが国の技術者をとりまく環境は大きく変化しつつあります。

具体的には、ISOに代表される国際的な品質保証の流れに呼応して技術者の活躍の場がボーダレス化するとともに、技術者能力の多国籍間での客観的な評価指標が必要とされています。このため、APEC技術者相互承認プロジェクトへの対応として、技術士法の改定による資格認定と継続教育、大学等の高等教育機関でのJABEE認定を両輪として、技術者資格と教育課程をリンクさせた国際的に通用する資格制度が整備されてきました。

これらの技術者資格改革の胎動期に、本誌でも「農業土木技術者資格と技術者教育プログラムの国際基準」と題して、小特集(68巻5号)を企画し、多くのご意見をいただきました。

前回の特集から数年を経過し、わが国の技術者資格の国際化対応について、多くの成果や将来への課題も得られたことと考えられます。そこで本特集では、技術者資格国際化対応の実践事例の紹介や、新たに生じてきた課題および将来のあり方について、再度特集を組むこととしました。多数のご投稿をお待ちしております。

73巻7号テーマ：現場における農業土木技術（仮）

本特集では「現場における農業土木技術」をテーマに、土地改良区を始め広く農業土木に携わっている方々が、常日ごろから現場で活用されている農業土木技術に焦点をあてた報文を募集します。以下に、その趣旨を説明します。

現在、農業土木分野は国際的にはグローバル化や地球規模的な環境問題に直面し、国内的には少子高齢化が進展する中、コスト縮減・循環型社会の形成・高度情報化社会の構築等の課題に直面しています。なかでも、土地改良施設の計画・設計・建設・維持管理にあたっては、その施設の本来の目的である機能や安全性はもちろんのこと、地球環境に対する配慮やライフサイクルコストの低減に関する検討が必要不可欠となっています。

そのためには、われわれ農業土木技術者としては農業土木技術のみならず他分野の技術との連携を図り、より進化した技術の構築が必要であり、その進化した技術ならびに先人の知恵に基づく技術を次世代に継承していくことが求められています。そういった状況の中、近年、農業土木技術者の後継となるべき若年層の現場離れが進んでおり、泥臭い現場よりも華やかなIT等の技術が好まれる傾向がありますが、現場の技術なくして「物づくり」は有りえず、「農業土木の真髄は現場にあり」「技術は現場で活用されてこそ生きる」と言えま

す。

そこで、学会誌編集委員会は、現場技術の重要性を再認識する必要があると考え、今回の特集を組むこととしました。そのため、最先端の新技术のみならず、現場で知恵を出し工夫・改良した技術等の紹介を今回は特に期待して、多数のご投稿をお待ちしております。

「オフィス便り」・「キャンパス便り」の原稿を募集しています！

学会誌には、会員の職場や学校を紹介するコーナーとして、「オフィス便り」・「キャンパス便り」を設けております。

多くの会員が身近な情報を提供することにより、学会誌を親しみやすいものにするとともに、気軽に投稿できるコーナーとして活用していただきたいと思います。

内容は、学会誌としての特徴を持ちつつ、他の機関誌とは違ったもので、できるだけ学会に関係のある内容、たとえば、

オフィス便りは、「事業実施において特色ある技術の導入」・「技術的に工夫した点」や「地域の魅力」、「技術者継続教育」・「技術力の向上」・「技術者倫理」など。

キャンパス便りは、「研究室の研究内容」・「学科紹介」など。

上記の内容を中心に、より広く事業や地域、また大学や研究室の紹介、その他の取組み状況を含めて、職場、学校として特徴のあるものを募集しています。奮ってご投稿ください。

原稿の長さは、刷り上がり1ページ(1,800字程度)で、写真を1~2枚程度入れてください。

第53回北海道支部研究発表会の開催について(第3報)

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



- | <p>1. 日時 平成16年10月27日(水)</p> <p>2. 会場 帯広市・とかちプラザ(帯広市西4条南13丁目, JR帯広駅南口すぐ)</p> <p>3. 参加申込み
右記様式により、メール、FAXまたは郵送にてお申込み下さい。
参加申込み締切:平成16年10月15日(金)
所属機関 _____
同上所在地 _____
申込代表者 _____ TEL _____</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">氏名</th> <th style="width: 30%;">所属</th> <th style="width: 40%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 参加申込先
〒060 8589 北海道大学農学部農業工学科内
農業土木学会北海道支部事務局
担当: 柏木淳一 E mail: kashi@env.agr.hokudai.ac.jp</p> | 氏名 | 所属 | 備考 | | | | | | | <p>☎011 706 3641 FAX 011 706 4145</p> <p>5. 参加費用
2,000円(研究発表会講演集を含む)
当日会場にて申し受けます。</p> <p>6. プログラム(詳細は、農業土木学会のホームページに掲載しますのでご覧下さい。なお時間は多少変更される場合があります。あらかじめご了承下さい。)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">09:30 開会挨拶</td> <td style="width: 20%;">第1会場</td> </tr> <tr> <td>09:45 平成16年度北海道支部賞表彰式</td> <td>第1会場</td> </tr> <tr> <td>10:00~12:00 第1セッション(口頭発表)</td> <td>第1会場</td> </tr> <tr> <td>10:00~12:00 第2セッション(口頭発表)</td> <td>第2会場</td> </tr> <tr> <td>12:00~13:00 (昼休み)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13:00~13:30 第3セッション(ポスター発表)</td> <td>ポスター会場</td> </tr> <tr> <td>13:30~15:30 第4セッション(口頭発表)</td> <td>第1会場</td> </tr> <tr> <td>15:45~17:45 第5セッション(口頭発表)</td> <td>第1会場</td> </tr> </table> | 09:30 開会挨拶 | 第1会場 | 09:45 平成16年度北海道支部賞表彰式 | 第1会場 | 10:00~12:00 第1セッション(口頭発表) | 第1会場 | 10:00~12:00 第2セッション(口頭発表) | 第2会場 | 12:00~13:00 (昼休み) | | 13:00~13:30 第3セッション(ポスター発表) | ポスター会場 | 13:30~15:30 第4セッション(口頭発表) | 第1会場 | 15:45~17:45 第5セッション(口頭発表) | 第1会場 |
|--|--------|----|----|--|--|--|--|--|--|---|------------|------|-----------------------|------|---------------------------|------|---------------------------|------|-------------------|--|-----------------------------|--------|---------------------------|------|---------------------------|------|
| 氏名 | 所属 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 09:30 開会挨拶 | 第1会場 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 09:45 平成16年度北海道支部賞表彰式 | 第1会場 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10:00~12:00 第1セッション(口頭発表) | 第1会場 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10:00~12:00 第2セッション(口頭発表) | 第2会場 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12:00~13:00 (昼休み) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13:00~13:30 第3セッション(ポスター発表) | ポスター会場 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13:30~15:30 第4セッション(口頭発表) | 第1会場 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15:45~17:45 第5セッション(口頭発表) | 第1会場 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

第32回北海道支部研修会の開催について(第1報)

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



- 平成14年9月、北海道支部は創設50周年を迎えました。これを記念して、北海道支部では「北海道の農業と農村 寒冷な環境の克服」と題した出版物をこのたび刊行しました。この出版を手がかりとして、これまでの寒冷地の農業土木を振り返り、各分野における今後の展望について考える、いわば“温故知新”を旨とした研修会を開催します。
- | | |
|---|---|
| <p>1. 日時 平成16年11月25日(木)</p> <p>2. 会場 札幌市・札幌サンプラザ(札幌市北区北24条西5丁目, 札幌市北区役所の東隣)</p> | <p>3. テーマ 「寒冷地の農業基盤整備にかかわる課題克服の軌跡と展望」</p> <p>4. プログラム
09:30 開会
基調講演; 農業土木の果たした役割 パラダイムへの対応
北海道大学大学院農学研究科 長澤徹明
講演1. 寒冷地における農業基盤改良技術の成果</p> |
|---|---|

- (独)北海道開発土木研究所 秀島好昭
 講演2. 農業基盤整備における地域排水の意義
 (株)ドーコン農業部 土佐久幸
 講演3. 寒冷な生産基盤環境の改善対策と効果
 北海道農政部 有好利典
 (財)北海道農業近代化技術研究センター 南部雄二
 講演4. 農業農村整備事業の展開方向
 北海道開発局農業水産部 黒崎 宏
 16:30 閉会

5. 参加申込み

下記様式により,メール,FAXまたは郵便にてお申込み下さい。
 参加申込み締切:平成16年11月19日(金)
 所属機関 _____
 同上所在地 _____
 申込代表者 _____ TEL _____

氏名	所属	備考

6. 参加申込先

〒060 8589 北海道大学農学部農業工学科内
 農業土木学会北海道支部事務局
 担当: 柏木淳一 E-mail:kashi@env agr hokudai ac jp
 ☎011 706 3641 FAX 011 706 4145

7. 参加費用

3,000円(テキストを含む) 当日会場にて申し受けます。
 なおテキスト「北海道の農業と農村 寒冷な環境の克服」(農業土木学会北海道支部発行)をすでにお持ちの場合に限り,参加費は1,000円とします。参加申込みの際に「テキスト不要」と注記下さい。当日,テキストを忘れずご持参下さい。

農村生態工学研究部会「第1回地方研究会」の開催について

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



- 日時 平成16年11月5日(金) 9:00~16:00
(午前:現地,午後:講演等)
- 場所 兵庫県豊岡市
(現地:コウノトリの郷公園等,講演等:豊岡市民会館)
- 表題 コウノトリの野生復帰に向けた取組み(仮)
- その他 詳細は,学会ホームページに掲載します。
- 問合せ先 農村生態工学研究部会事務局
(農村環境整備センター:鹿嶋,村山)
☎03 5645 3671/FAX 03 5645 3675/E-mail:seitaikai@acres.jp

平成16年度農業水利研究部会研究集会開催のお知らせ(第1報)

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



- 平成16年度農業水利研究部会研究集会を開催いたしますので,ご参加下さるようご案内いたします。なお,学会ホームページ内の研究部会欄からも農業水利研究部会にアクセスできますので,こちらをご利用ください。
- 記
- 日時 平成16年11月24日(水) 13:30~15:30
 - 場所 未定(都内)
 - テーマ 関東地方の湯水調整と土地改良区の対応(仮題)
 - 講師 松井宏之(宇都宮大学農学部助手)他
 - 参加料 無料
 - 問合せ先 農業水利研究部会事務局
東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科地域資源利用学研究室内
(事務局担当:中村好男)
☎03 5477 2337 E-mail:nyoshi@noda.ac.jp

平成16年度農村道路研究集会および現地見学会

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



- 平成16年度農業土木学会農村道路研究集会および現地見学会を静岡県浜松市で開催いたします。多くの方々の参加をお待ちしています。
- 主催 農業土木学会農村道路研究部会
後援 静岡県農業水産部農地保全室
 - 日時 【研究集会】
平成16年11月25日(木) 13:00~17:00
【現地見学会】
平成16年11月26日(金) 9:00~12:00
 - 場所 【研究集会】 アクトシティー浜松
〒430 7790 静岡県浜松市板屋町111-1
☎053 451 1112

【現地見学会】

静岡県農林水産部西部農林事務所管内
☎053 458 7224

4. 内 容

【研究集会】(平成 16 年 11 月 25 日)

13:00~13:10 会務報告

「補強土工法と農村道路建設の諸問題」

13:10~14:10

講演 1: 補強土壁(テールアルメ工法の最新設計法・日本テールアルメ協会)

14:10~15:10

講演 2: 設計・施工の現場から『成功と失敗の事例』日本テールアルメ協会

15:30~16:45

研究報告

『農道における新しい舗装技術の紹介』土地改良舗装研究会

16:45~17:00: 質疑

【現地研修会】(平成 16 年 11 月 26 日)

「環境に配慮した法面保護の事例」

5. 参加費

【研究集会】 5,000 円

【現地研修会】 2,000 円

6. 宿泊施設の案内

インターネットで検索いただきたい。

7. 参加申込み方法

下記の申込み様式を使用して、記入の上、参加の申込みをお願いします。

2004 年度農業土木学会農村道路研究部会研究集会および現地見学会参加申込書

氏名			
所属			
電話番号			
メールアドレス			
所在地			
研究集会	参加	不参加	円
現地見学会	参加	不参加	円
参加料(合計)			円
参加料の支払方法			
領収書の宛先			
CPD 番号(農業土木技術者継続教育機構)			

参加・不参加に 印をお願いします。

なお、参加費の振り込みは、現金書留、または銀行振込にてお願いします。前納をお願いします。

【現金書留の場合】

〒183 8509

東京都府中市幸町 3 5 8

東京農工大学農学部 加藤 誠

☎042 367 5756

【銀行振込の場合】

三井住友銀行経堂支店 農道研究部会

会計 竹内 康

普通 597 6610166

8. 参加の申込み期限

平成 16 年 11 月 10 日(水) 17:00 まで

9. 連絡先

〒183 8509

東京都府中市幸町 3 5 8

東京農工大学農学部 加藤 誠

☎042 367 5756

E-mail:mkato@cc.tuat.ac.jp

第 42 回材料施工研究部会シンポジウムの開催について(第 2 報)

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



1. 主 催 農業土木学会材料施工研究部会

☎029 861 0001

2. 共 催 (独)農業工学研究所

<http://www.epochal.or.jp/>

3. 後 援 農林水産省

7. プログラム

4. テ ー マ 水利施設のストックマネジメント

(1) 予防保全対策事業と保全対策センター(仮題)

5. 期 日 平成 16 年 12 月 17 日(金) 10:00~16:00

農林水産省関東農政局根川水系土地改良調査管理事務所

6. 会 場 つくば国際会議場 大ホール(450 席)

保全対策センター技術調整官 森 丈久

〒305 0032 茨城県つくば市竹園 2 20 3

(2) スtockマネジメントに向けた国営事業用水路システム

- のデータベース
 (独) 農業工学研究所水工部上席研究官 中 達雄
 (3) 劣化した鉄筋コンクリート構造の耐力評価(仮題)
 岡山大学環境理工学部教授 村山八州雄
 (4) LCC の確率論的評価と打音による施設の機能診断(仮題)
 京都大学農学研究科助教授 小林 晃
 (5) 長期供用ダム(仮題)
 農林水産省農村振興局整備部設計課農業土木専門官
 川中 正光
 (6) 水土里ネットとストックマネジメント(仮題)
 那須野ヶ原土地改良区連合事務局長 星野恵美子
 (7) 新川河口排水機場の更新計画(仮題)
 農林水産省北陸農政局信濃川水系土地改良調査管理事務所
 計画課長 筧 直樹
 (8) 他に、民間数社を予定

8. 参加費 4,000円(テキスト代) 当日受付で徴収させていただきます。
 9. 申込 参加者氏名, 所属機関名, 所在地住所, TEL, FAX, E-mail, 弁当
 希望の有・無, お書きの上, FAXもしくはE-mailにてお申し込み下さい。また, 表題として, 「材料施工研究会シンポジウムの参加」と明記して下さい。
 10. 申込先 〒680 8553 鳥取市湖山町南4 101
 鳥取大学農学部 気付 材料施工研究会事務局
 申込担当: 林 麻美
 ☎&FAX: 0857 31 5583
 E-mail: hayashi@kiban.muses.tottori-u.ac.jp
 11. 申込締切 平成16年11月30日(火)
 12. 宿泊 各自で手配下さい。
 13. 問合せ先 申込先と同じです。

水土里の体験展 04 ~再発見! 実りいっぱい 夢イッパイ ふるさとからのメッセージ~

水と土によって育まれた“食”と農業の大切さについて、都市に住む方々に感じていただき、私たちの毎日の“食”は、水と土がその基盤を与えているということと、その恵みと多面的な価値を楽しみながら、知っていただくことを趣旨として、本年度も「水土里の体験展 04」(主催: 全国水土里ネット/都道府県水土里ネット)を開催します。

また、「ふるさとの田んぼと水子ども絵画展」は、未来を担う子どもたちに田んぼや農村に関心をもってもらうだけでなく、ふるさとの素晴らしさを発見し、大人たちへのメッセージとして、子どもたちのまなざしを届けることを目的として、同時開催します。

1. 期 間 平成16年10月29日(金)~11月4日(木)
 入場無料
 <子ども絵画展授賞式 10月30日(土)>
 2. 会 場 東京駅八重洲地下街 メインアベニューおよびセンタースポット
 3. 開催内容 企画内容およびスケジュールについては、予告なく変更になる場合があります。
 ・ミニジオラマ(棚田)・水路図により農業における水と土

の大切さを知っていただきます。

- ・「田んぼの水族館」では水路や農地が育む多様な生き物を見ていただきます。
 - ・もみすり, 脱穀体験
 - ・ステージイベント.....若手演奏家によるミニコンサート。
 分野を超え、結集した新進気鋭の女性演奏家「Sakura Project」による演奏や、津軽三味線、太鼓、また箏とキーボードのコラボレーションなど日本の原風景をバックにさまざまな音色を楽しんでいただきます。
 - ・展示 「ふるさとの田んぼと水子ども絵画展2004」入選・入賞作品
 - ・販売 秋の収穫市(水と大地の恵みである採れたて農産物の紹介・販売)
 - ・情報発信・収集 水土里ネット情報コーナー, アンケートコーナー
4. 問い合わせ
 全国水土里ネット広報センター ☎03 3234 5480

「国際水田・水環境ネットワーク (INWEPF)」設立記念シンポジウムの開催について
農林水産省

農業土木技術者継続教育プログラム認定申請中



本誌9月号で国際水田・水環境ネットワーク (INWEPF) をご紹介させて頂きましたが、同ネットワークの設立を目的とする第1回運営会議を本年11月に開催するところであり、それに伴い、同ネットワーク設立記念シンポジウムを広く一般に公開致しますので、特に大学生および若手技術者の方に奮ってご参加頂けると幸いです。基調講演、特別講演およびワークショップでは講演者との意見交換の時間を設けております。また、1日(月)の会議後にビューフェレセプション(有料)も予定されております。なお、同シンポジウムは基本的に英語で行われますが、日英同時通訳を設ける予定です。

1. 主 催 農林水産省

2. 日 時 平成16年11月1(月)および2日(火)

3. 場 所 三田共用会議所(東京都港区三田2-1-8)

4. 定 員 250名

5. 参加費 無料

6. プログラム(予定)

(1) 基調講演

「アジアモンスーン地域における食料生産と水(仮題)」
Dato' Ir. Hj. Keizrul bin Abdullah 国際かんがい排水委員会会長(予定)

(2) 特別講演(持続的かつ効率的な水利用(仮題))

「水田農業の多面的機能」
講師(予定): Dr. David Groenfeldt (米国)
Dr. Nyoman Sutawan (前 Udayana 大学学長: インドネシア)

「水田における参加型水管理」

講師(予定): Mr. Joseph Raymond Peter (国際参加型水管理ネットワーク: INPIM)

Dr. Ming-Hua TSAI (国際水田・水環境工学会: PAW-EES)

(3) 地球規模水循環研究国際ワークショップ:(独)農業工学研究所他主催

「地球規模水循環変動が食料生産に与える影響の評価と対策シナリオの策定(仮題)」

「2005 FAO オランダ共催: 食料と農村生態系のための水(仮題)」

(4) 国別報告

アジアモンスーン地域を中心とする16カ国(予定)から、「水田農業の多面的機能」および「水田における参加型水管理」を含む水田灌漑の現状を報告。

7. 詳細情報および申込み

詳細情報および申込書は、今後農林水産省および農業土木学会ホームページに掲載いたします。

8. 問い合わせ先

農林水産省農村振興局整備部水利整備課

松本, 小野寺

☎03 3502 3083

E-mail inwepf_wwf@nm.maff.go.jp

宿泊は各自でご手配ください。